



# 千の手

犬山  
つが おかのん  
継鹿尾観音  
寂光院

本堂  
随求堂

## 平成の大修理



本堂・随求堂 国登録文化財

「平成の大修理」事業概要

- 一、随求堂 解体修復・耐震・屋根替
- 一、本堂 解体修復・耐震・屋根替
- 一、本堂内 本尊脇仏二体 修復
- 一、随求堂内 三十三観音三十三体 修復

これまで一三五〇年、

これから五〇年、一〇〇年、二〇〇年！

尾張・美濃を一望できる犬山・木曾川のほとりの継鹿尾山に、万人の幸せを願って寂光院が建立されてより一三五〇年。

現在、千手観音様をおまつりする本堂・随求堂（国登録文化財）「平成の大修理」事業が進められています。

これから五〇年、一〇〇年後の子供達や孫達に寂光院の景観が伝承でき、千手観音様のお徳に浴することが出来たらという一念でございます。

皆様のお力添えをぜひお願い申し上げます。

犬山 継鹿尾山 寂光院

山主 松平 實胤

本堂  
随求堂  
平成の大修理 趣意書

宗派を超えた修行・学問・信仰の霊山

尾張最古刹・厄除千手観音霊場 寂光院は、その長い歴史をあまたの善男善女から「信仰の霊山、継鹿尾の観音様」と親しまれてまいりました。

また、「尾張に継鹿尾山あり」。当山は古来より全国各地から修行・学問を志す人たちがあい集う「学問寺」としての役割をにない、後に臨済宗妙心寺中興の祖と崇められる日峰禅師をはじめとして、宗派を超えて名僧博識が勉強されました。とき移り昭和の時代になると、青少年育成のために建立された「聖徳殿」に集う若人は枚挙に暇あらず、彼らは戦後復興の担い手として各分野で活躍されたと聞き及んでいます。

尾張のもみじでら この自然が寂光院の財産

戦後は高度経済成長の波とともに各地で自然破壊が進みましたが、当山は観光開発や霊園開発から一線を隔し、《継鹿尾山の自然と文化の伝承》を合言葉として今に至っています。おかげさまで当山は「春は花、夏は緑、冬は雪」と詠われ、ことのほか秋の紅葉は「尾張のもみじでら」の愛称を戴けるほどになりました。

「平成の大修理」へ！古寺としての景観を後世に

さて、当山の本堂・随求堂は平成十七年に国登録有形文化財の指定を受けました。精細な調査の結果、江戸時代後期に建立されてよりおよそ百年後の昭和三十四年の伊勢湾台風では大打撃を受け大改修は施されているものの、積年の痛み激しく、ことのほか屋根瓦・梁・垂木のたわみ等が著しく、直ちに耐震・修復・屋根替工事を施す必要があるとの結論に至りました。

古寺としての景観を後世に伝承するこれが最後の機会と受け止めて、ここに「平成の大修理」を発願いたしました。

0日(土曜日)

中

一

新

聞

尾張のもみじ寺として知られる大山市継鹿尾の寂光院で、「平成の大修理」が行われている。ともに国登録有形文化財の本堂と随求堂の耐震補強などに対応するため、一九五九(昭和三十四)年の伊勢湾台風で被害を受けて以来の大規模な修復工事となる。(野末幹雄)

# 平成の大修理

## 国文化財耐震化

## 2堂

二つの堂はいずれも既に随求堂の解体修理江戸時代末の一八〇〇は二月初旬から始まった。結果、垂木がたわむな終える予定。十一月十二日傷みが激しい上、耐月は紅葉シーズンのた震性などの安全面から、景観や行楽客の安補強工事のほか、屋根全などを考慮して工事を軽量化する必要がを一時中断し、来年一あると結論付けられ月から同十月末までのた。建て替えではない 予定で本堂の解体修理ので、修復後も見た目に取り掛かる。

は以前と変わらないと 松平実胤山主(六)は

建物工事と並行し するため、この機を逃して、両堂内に安置され してはならないと大修理の解体修理も専門業者 後、百年後の子孫のた

に依頼して行う。総事業 にも、大勢の人の力 業費一億五千万円。寂 が大きな支えになる」 光院はほとんど檀家(だんか)を と話している。問い合 持たないため事業費は わせは寂光院 電05

みほとけ様にも御休息を

また、本堂ならびに随求堂に安置のご尊像三十五体を名古屋市博物館に調査をお願いしましたところ、江戸時代後期に一度修復されて以来お痛みも甚だしく、後世に伝承するためには今回が修復の好機との見解を戴きましたので、この期に本体工事と平行して解体修復を発願いたしました。

皆様のお力を

しかしながら総工費は莫大な費用を要します。国より一部ご助成を戴くことになりましたが、皆様方のご支援無くしては到底成しうる事業ではありません。

当山開創以来一、三五〇年に培ってまいりました「継鹿尾山の自然と文化の伝承」の精神を後世に伝える為に、ぜひとも「平成の大修理」に皆様方のお力添えを、伏してお願ひ申し上げます。

合掌

工期 平成二十年二月～平成二十二年三月末予定

犬山	継鹿尾山	寂光院	山	主	松	平	實	胤
犬山	継鹿尾山	寂光院	信徒総代	長	谷	口	清	太郎
平成の大修理奉賛会	副会長	桑	原	正	則			
平成の大修理奉賛会	副会長	社	本	宮	明			

「平成の大修理」事業費

本堂修理費	六六、〇〇〇、〇〇〇円
随求堂修理費	五五、〇〇〇、〇〇〇円
仏像修理費	一六、〇〇〇、〇〇〇円
付帯事業諸費	一三、〇〇〇、〇〇〇円
総事業費	一五〇、〇〇〇、〇〇〇円

# もみじ寺 犬山の寂光院

事業は二年計画で、へ。



解体修理が行われている随求堂。奥は来年から工事が始まる本堂。中央は松平実胤山主一犬山市継鹿尾の寂光院で

## ●ご志納方法

・現金でのご志納は、事務所まで毎日受付いたしております。  
・郵便振替での志納は、

口座名 寂光院 00800141406664

銀行振込での志納は、左記の口座にご送金ください。

口座名 宗教法人 寂光院

三菱東京UFJ銀行	犬山支店	普通	216157
名古屋銀行	犬山支店	普通	161134
愛知銀行	犬山支店	普通	623933
三井住友銀行	犬山支店	普通	54195

三井住友銀行

犬山支店

普通 54195

きりとり線

七ヶ月続けてお参りすると大願成就!!

月例行事

◎七七月まいり

- 五日 健康長寿 大随求尊縁日
- 十八日 一心祈願 千手観音縁日
- ・各十時半より、大護摩祈祷と松平山主の法話
- ・名鉄犬山遊園駅より臨時バス運行

「縁の日が」縁日

いつでもご都合のよろしい日がご縁日。七七月まいりの受付は年中無休です。

◎やすらぎ説法 毎月第二日曜日 十一時

寂光院友の会 千手会のご案内

千手会は寂光院に心を寄せて戴いている皆様の集いです。千手会にはわずらわしい制約は一切ありません。千手会はすべて自由参加です。是非ご入会下さい。(毎月の「やすらぎ説法」は千手会の催事です)

きりとり線

千手会申込書

正会員 (二口三千円) 口 円  
賛助会員 (一口三万円) 口 円

住所 〒 右申込致します

氏名

電話

おとし

年 月 日

お写経の集い (般若心経を読む・聞く・書く)

とき 毎月第二・第四 日曜日午前十時

静寂な山寺のお堂の中でみ仏と対座して一心に筆を取る。般若心経一巻をお写しするのに一時間程かかります。お写経の前には松平山主と共に読経

松平山主の法話

◎写経用具は当方にとり揃えてあります。

お気軽にご参加下さい。(要電話予約)

前田道雄 写仏教室

写仏はまったく初めての方を対象に基礎の基礎から始めます。

とき 毎月第三土曜日

午後一時

松平實城 二詠歌教室



ご詠歌はまったく初めての方を対象にとても「楽しく」「優しく」教えて下さいます。

とき 毎月十八日

午後二時

寂光院への連絡方法

- ①電話 0568 (61) 0035
- ②FAX 0568 (61) 5953
- ③千振替 00800-4-40664
- ④ホームページ

<http://www.jakkoin.com/>

発行所

つが 継鹿尾観音 寂光院

千四八四一〇〇九一

愛知県犬山市継鹿尾山  
平成二十年八月九日発行

(第四十四号)